

東京電機大学同窓会
平成19年度総会式次第



日時 : 平成19年4月7日(土) 午後3時00分 から
場所 : 総会 東京電機大学神田キャンパス 7号館 丹羽ホール
懇親会 // 11号館 17階大会議室

式 次 第

I. 校歌斉唱

II. 挨拶

同窓会会長 村田 耕治
校友会理事長 岡田 栄一 様
学園理事長 加藤 康太郎 様

III. 三同窓会による100周年記念募金贈呈

大学同窓会会長 村田 耕治
中学・高等学校同窓会会長 石崎 泰司
電機学校同窓会副会長 我孫子 篤

IV. 講演「電大の近況について」

講師 : 中村 尚五 教授(学長補佐)

V. 議事

第1号議案 平成18年度事業報告承認の件
第2号議案 平成18年度決算承認の件並びに監査報告
第3号議案 平成19年度事業計画案承認の件
第4号議案 平成19年度予算案承認の件
第5号議案 平成19・20年度役員改選の件

VI. 懇親会

11号館 17階 大会議室

以上

18年度事業報告

1. 卒業生に対する活動

(1) クラス会開催の促進・支援

単独クラス会	:	18件
合同クラス会	:	4件
学科別同窓会(縦の会)	:	4件

(2) クラブOB会活動の協力・支援

単独クラブOB会	:	11件
合同クラブOB会	:	3件
単独研究室OB会	:	10件
合同研究室OB会	:	4件

(3) OB交歓会への支援・協力

開催日	:	11月4日(土)
場所	:	神田キャンパス11号館17階
出席者	:	約100名

(4) 縦の会(学科別同窓会)代表者交流会の実施

開催日	:	2月3日(土)
出席者	:	13名
場所	:	校友会会議室

縦の会代表者交流会を、校友会会議室でおこなった。

縦の会の現状報告、および今後の方策について積極的な意見を拝聴した。

また、学園100周年記念事業について、出席者に再度協力いただけるようお願いをした。

(5) 地方支部・県支部活動の促進・支援

各地方支部総会が下記のとおり開催され、同窓会の役員が出席し、同窓会活動及び学園の近況報告を行うとともに地方会員との交流を図り、支部活動を支援した。

また、学園100周年記念事業への協力、同窓会及び校友会への協力についてもお願いをした。

今年度は、岩手県支部が新たに設立され、これにより、東京都を除く全国の地方および県に支部が設置できた。

【地方支部・県支部総会日程】

4月22日	富山県支部	11月3日	鹿児島県・宮崎県合同
5月27日	埼玉県支部	11月12日	長崎県支部
"	石川県支部	11月18日	山陰支部
6月3日	神奈川県支部	"	長野県・山梨県合同
6月10日	千葉県支部	11月25日	新潟県電機会
6月18日	岐阜県支部	11月26日	九州支部・福岡県合同
7月8日	茨城県支部	"	秋田県支部
8月5日	青森県支部	12月3日	東海支部
8月27日	福井県支部	"	三重県支部
9月23日	北海道支部	12月9日	香川県支部
10月21日	宮城県支部	1月27日	愛媛県支部
10月28日	新潟電機会	3月17日	山陽支部
"	沖縄県支部	3月24日	岩手県支部設立総会
10月29日	群馬県支部		

(6) 広報活動の充実

平成18年度は、広報活動の充実をテーマに、下記の活動を展開した。

①資料、議事録の公開

総会資料、幹事会・各委員会議事録等をデータ化し、ホームページに掲載、情報の公開に努めた。

②歴代大学同窓会長との交流

昨年度に引き続き歴代同窓会長経験者を、お一人ずつ幹事会にお招きし、交流を図った。内容はホームページに掲載した。

③アイデアコンテスト協賛

学生、OBからの研究、技術、発明、製品などのアイデアを広く公募する経営同友会主催の「アイデアコンテスト」に同窓会賞を設け協賛した。

④校友会のしおり 製作協力

例年どおり大学、中学・高等学校、電機学校の各同窓会および校友会と合同で「校友会のしおり」を改訂し発行した。

⑤電子メールの活用

昨年度に引き続き、幹事会の連絡には電子メールを活用した。電子メールの適用者も増えてきており、通信には従来の往復はがきからメールへの切替えがすすんでいる。

⑥委員会活動

広報委員会を開始し、ホームページコンテンツの更新を検討、改訂を実施した。

- ・工学情報に掲載されたクラス会等の開催報告を、ホームページに登録した。
(ホームページでは写真をカラーで掲載している)
- ・掲示板に不正な書き込みが増えていたので、認証方式を採用しセキュリティを強化した。
- ・「OBの広場」のページに神田周辺のランチマップを掲載した。

2. 在校生に対する活動

(1) 丹羽賞・同窓会奨励賞の授与

- 1 1月4日 神田キャンパス OB交歓会に於いて
- 1 1月5日 鳩山キャンパス 後夜祭に於いて

工学部12件、理工学部7件、情報環境学部0件から合計19件の申請があり選考を行なった。なお、申請は体育会本部、文化部会、学術研究会等で審議がされ申請されて来ている。

審議の結果、丹羽賞5件(1件5万円)および同窓会奨励賞8件(1件3万円)を選考した。(詳細は、別紙のとおり)

(2) 助け合い基金の運営

助け合い基金は約550万円の資金で同窓会が準会員を対象に1万円を限度とし短期貸出を行う制度である。

今年度は766件(約740万円)の利用があった。

(3) 卒業記念品の贈呈

昨年同様、3月19日武道館に於いて行われた卒業式で、学部卒に対して証書挟み(2029名)、大学院卒に対して丸筒(434名)を記念品として贈呈した。

- (4) 学園祭、体育祭行事への補助
 合同体育祭（鳩山） 5月14日
 秋葉祭（千葉） 10月 8日
 錦祭・鳩山祭 11月 3日～5日

例年同様、上記のとおり開催され、同窓会から役員が出席し、表彰、賞品の授与および補助を行うとともに、在校生との交流を図った

- (5) イベント等参加への支援
 今年度は、次のイベントに補助を行った。
 ・ソーラーカー
 ・鳥人間コンテスト
 ・大学院論文発表会

3. 母校に対する活動

- (1) 卒業生による就職セミナーの開催
 開催日 2月10日（土）
 場 所 ホテルグランドパレス
 参加企業 254社（617名）
 参加学生 約1600名
 同窓会・大学・後援会関係 122名

1企業当たりの面談学生数は約20名、1学生当たりの面談企業数は4.0社であった。

このセミナーが学生および企業にとって有意義なものであることを再確認した。

- (2) Home Comingの集い（卒業生招待会）への協力

今年度は11月25日（土）九段下のホテルグランドパレスにて学園主催で開催された。

対象は、昭和21年から5年ごとの大学・大学院・短大の卒業生で約280名が集まり、同窓会から、会長および該当卒業年の役員、幹事が出席し、同窓会への協力要請および若手卒業生への働きかけを行った。

4. その他の活動

- (1) 総会・参与会・幹事会の開催

平成18年度同窓会総会を4月8日に開催し、平成17年度事業報告、決算報告及び監査報告、18年度事業計画、及び予算案を審議承認された。

また、下記の日程で幹事会・参与会等を開催し、同窓会の活動、およびその内容について審議を行った。

幹事会	参与会
5月26日	7月22日
6月29日	12月 2日
9月28日	
10月26日	歴代会長会
1月25日	2月20日
3月22日	

この他に、役員会および各委員会を適宜開催し、活動を行った。

- (2) 校友会の運営に参画

例年同様、同窓会会員が校友会理事・監事として参画し、校友会活動に協力した。

(3) 中学・高等学校同窓会、電機学校同窓会等との交流

次の日程で、各会の総会が行われ、当会から役員が出席し交流を図った。

電機学校同窓会総会	4月15日
商工懇話会総会	4月22日、10月6日
中学・高等学校同窓会総会	5月13日

三同窓会連絡会（大学同窓会、電機学校同窓会、中学・高等学校同窓会）を1月20日に開催し、100周年記念募金を三同窓会で取り纏め、19年度大学同窓会総会において、学園に寄付することとした。

また、今後とも3同窓会の協力体制を維持していくことを確認した。

(4) 援助規定の改定

規定検討委員会において、会員への援助規定、および準会員援助規定の改定を行った。

平成18年度収支決算書

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

平成19年3月31日における財産

1.資産 (単位:円)

資産	10,000,000
内訳	
郵便局定額貯金	5,000,000
〃	5,000,000

3.助け合い基金 (単位:円)

運用資金総額	5,592,675
内訳	
期首繰入金	5,505,436
雑収入	87,239
元入金	0

2.丹羽基金 (単位:円)

丹羽基金総額	2,000,000
内訳	
公社債	1,500,000
神戸市公募債	500,000

平成19年3月31日期収支決算書

(単位:円)

収入の部			支出の部		
科目	実績	予算	科目	実績	予算
平成17年度卒業生会費(注)	8,196,000	8,100,000	事業費	9,043,548	8,800,000
その他の収入	3,115,535	2,634,000	クラス会・OB・OG会	2,324,180	2,300,000
内訳			学科別同窓会(糧の会)	95,323	300,000
大学後援会補助	3,000,000	2,500,000	支部会	1,287,760	1,100,000
積立金利息	0	3,000	広報活動	375,250	500,000
丹羽基金利息	11,000	11,000	内訳		
雑収入	104,535	120,000	丹羽賞・同窓会奨励賞	490,000	500,000
平成17年度繰越金	3,765,167	3,765,167	卒業記念品	721,035	700,000
(注)			OB交歓会	400,000	400,000
@ 4,000 × 1,995 名			就職セミナー	3,100,000	2,600,000
@ 4,000 × 54 名(随卒)			イベント援助金	250,000	400,000
			会議費	1,610,098	1,700,000
			内訳		
			総会	459,452	500,000
			幹事会	296,040	300,000
			役員会	109,919	150,000
			参与会	541,392	550,000
			委員会	203,295	200,000
			消耗品費	51,585	50,000
			通信費	19,170	150,000
			雑費	7,770	10,000
			慶弔費	101,500	100,000
			記念事業準備金	3,000,000	3,000,000
			予備費	0	689,167
			繰越金	1,243,031	
合計	15,076,702	14,499,167	合計	15,076,702	14,499,167

平成18年度助け合い基金収支決算書

(単位:円)

収入の部		支出の部	
期首繰入金	5,505,436	事務経費	0
雑収入	87,239	回収不能金	0
元入金(一般会計より)	0	次期繰越金	5,592,675
合計	5,592,675	合計	5,592,675

平成18年度監査結果

会計監査の結果、正確かつ適正に処理されていることを認める。

平成19年4月4日

会計監査

伊打 亮典
高岡 康之

平成19年度事業計画（案）

I. 卒業生に対する活動・支援

1. クラス会、クラブOB会等の開催支援
2. 縦の会（学科別同窓会）等の開催および設立の支援
3. 地方支部・県支部等への支援
4. OB交歓会の開催
5. 講演会、研修会等の開催

II. 在校生に対する活動・支援

1. 丹羽賞・同窓会奨励賞の選考、授与
2. 助け合い基金の運営
3. 卒業記念品の贈呈
4. 学園祭、体育祭行事等への支援
5. イベント等への参加支援

III. 母校に対する活動・支援

1. 卒業生による就職セミナーの開催
2. Home Comingの集いへの支援、協力

IV. その他の活動

1. 広報活動の充実、ホームページの管理運営
2. 参与会、歴代会長会、幹事会の開催
3. 校友会の運営に参画
4. 中学・高等学校同窓会、電機学校同窓会等との交流
5. 大学後援会との交流

平成19年度予算案

(単位:円)

収入の部		支出の部	
	科 目	金 額	科 目
	平成18年度卒業生会費	8,100,000	事業費
	その他の収入	3,116,000	10,200,000
内 訳	大学後援会補助金	3,000,000	クラス会、OB・OG会
	受取利息	5,000	縦の会活動補助
	丹羽基金利息	11,000	講演会、研修会等
	雑収入	100,000	支部会
	前年度繰越金	1,243,031	広報活動
			内訳
			丹羽賞・同窓会奨励賞
			卒業記念品
			OB交歓会
			就職セミナー
			準会員援助金
			会議費
			1,600,000
			内訳
			総 会
			幹 事 会
			役 員 会
			参与会・歴代会長会
			委 員 会
			消耗品費
			50,000
			通信費
			50,000
			雑費
			10,000
			慶弔費
			100,000
			予備費
			449,031
	合 計	12,459,031	合 計
			12,459,031

平成18年度丹羽賞等授賞団体

<丹羽賞授賞団体 (5団体) 5万円>

☆工学部第一部 委員会 放送委員会 (人数25名)

毎年夏と冬に開催される OMEC (Opened Media Entertainment Circles) において、平成18年度夏季 OMEC 大会最優秀賞を獲得するなど優秀な成績を収めた。※OMEC とは、関東圏の8大学10団体が各々の作品を制作し、放映する映像作品コンテストである。OMEC 加盟大学 (駒沢、聖徳、千葉、帝京、東京経済、東京理科、法政、電大)

☆工学部第一部 体育会 卓球部 (人数42名)

二部大会1部リーグにおいて、昨年10月から数えて3回の優勝を勝ち取ったほか、各種大会においても優秀な成績を収めた。

☆工学部第一部 体育会 陸上競技部 (人数15名)

横浜インドアオープン競技会・400m 走8位、関東理工系学生陸上競技大会・棒高跳び第3位、走り幅跳び第3位、槍投げ第8位などの優秀な成績を収めた。また各種大会への積極的な参加ならびに運営の手伝い等幅広い活動を行っている。

☆理工学部 体育会 少林寺拳法部 (人数19名)

全日本学生大会において、女子段外第3位を獲得したほか、関東学生大会において、男子二段第2位、男子単独有段第3位、女子段外第2位などの優秀な成績を収めるなど、数多くの大会において積極的な出場を果たし、本学の知名度アップに貢献をしている。

☆理工学部 学術文化部会 自動車部 (人数20名)

学生自身で設計・製作した車両を駆使し、第25回「本田宗一郎杯 Honda エコパワー燃費競技全国大会」へ出場、見事部門第3位を獲得するなど、着実に活動成果を発揮した優秀な成績を収めている。

<同窓会奨励賞授賞団体 (8団体) 3万円>

☆工学部第一部 文化部会 管弦楽部 (人数44名)

日々演奏力の向上を目指し、トレーナーの下積極的な活動を行っている。その結果、年に2回開催している定期

演奏会や卒業式・入学式といった大学行事においてその成果を十分に発揮し、多くの観客から好評を得ている。

また定期演奏会では毎回200人程度の観客を動員している。

☆工学部第一部 体育会 少林寺拳法部 (人数25名)

数多くの大会に参加し、非常に優秀な成績を収め、本学の知名度およびイメージアップに貢献している。

☆工学部第一部 学術研究部会 自動制御研究部 (人数35名)

ロボットの研究、製作を日々積極的に行っており、その成果をかわさきロボット競技大会にて十分発揮している。本大会では17台のロボットで参加をし、見事決勝トーナメントまで勝ち進み結果ベスト32に入る活躍を見せた。※かわさきロボット競技大会 (参加ロボット台数246台)

☆工学部第一部 学術研究部会 電子技術研究部 (人数65名)

マイクロマウス競技に向けてマイクロマウスを製作し、決勝大会に進出している。また学園祭やオープンキャンパス、地域のイベント等においても積極的に参加し、その他にも電子工作教室を開催するなど、技術力および社会貢献の意識が非常に高い団体である。

☆工学部第一部 学術研究部会 航空技術研究部 (人数11名)

日々ハングライディングおよびパラグライダー製作を積極的に行い、NASA STUDENT2006 ハングライダー2nd クラスにおいて第3位になるなどの好成績を収めている。

※NASA STUDENT2006 (社団法人 日本ハング・パラグライダー連盟公認大会)

☆理工学部 鳩山祭実行委員会 (人数231名)

今年で30回を迎える鳩山祭を成功させるため、企画・運営等積極的に活動し、多くの方に楽しんでいただいている。また、他大学の学園祭等にも手伝いで参加をし、地域等との交流面でも本学のイメージアップに大きな貢献をしている。

☆理工学部 体育会本部 応援団局 (人数15名)

毎年入学式、卒業式、合同体育祭、鳩山祭などの多くの大学行事において演武を披露し、行事を盛り上げることに貢献している。

☆理工学部 学術文化部会 軽音楽部 (人数36名)

創立28年を迎え、年間を通して積極的に活動している。特に鳩山祭での演奏やカレッジロックフェスティバル 2006 などの学外のイベントに出場することにより、他大学との交流を図っている。さらに、今年9月よりインターネット放送 GYA0 において配信されている番組で、本団体のバンドが出演している。

※今年度においては、情報環境学部からの推薦団体は無し

東京電機大学同窓会
準会員 援助規定 1

(目的)

第1条 準会員の各種活動を支援することを目的とする。

(名称の定義)

第2条 準会員及び各種活動の内容は下記のものとする。

1. 準会員とは、大学院・大学の在学生を言う。
2. 各種活動とは下記の団体・個人の活動を言う。
 - ① クラブ活動
 - ② 研究活動
 - ③ 競技会への出場
 - ④ ボランティア活動
 - ⑤ その他、同窓会長が特に認めるもの

(援助基準)

第3条 東京電機大学の知名度向上に資する活動に対して支援する。

(援助事項)

第4条 各種活動に対し、10万円以内の支援を行う。ただし、同窓会幹事会で特に承認されたものは、この限りではない。

(申請手続き)

第5条 援助を希望する者は第一期（6月末締切）又は第二期（12月末締切）の期間内に所定の申請書に記載し、同窓会長に申請する。

(審査・決定)

第6条 援助する団体・個人は同窓会幹事会において、予算範囲内で審査・決定する。

(改廃)

第7条 この規定の改廃は、幹事会で定める。

付 則

この規定は、平成19年4月1日より施行する。